

令和6年度 第1回 高山市総合計画審議会 会議録（要旨）

日 時：令和6年9月17日（水） 14時00分～16時10分

場 所：高山市役所地下 大会議室

出席者：高山市総合計画審議会委員 27名

（欠席者3名） ※別紙名簿のとおり

高山市長、副市長、総合政策部長、総合政策課長、地域政策課長、生涯学習課長、総合計画策定室長、総合政策係長、総合計画策定係長、観光課海外戦略係長

---

会議内容（次第）

1. 開会

市あいさつ（市長）

2. 会長及び副会長の選出について

会 長 （堀委員）

副会長 （谷口委員）

3. 議事（議長：堀会長）

- (1) デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプ）の令和5年度評価・検証について
- (2) デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生推進タイプ）の令和6年度取組状況について

資料に基づき事務局が説明

議長（堀会長）

- ・昨年市内で開催されたエンジン02は多くの著名人にお越しいただき、非常に好評であった。有名な方が講師となったため、各講座においてすぐに定員に達したことが残念であった。

桑谷委員

- ・エンジン02については、好評にも関わらず、KPIの評価が計画を下回っているところもあるが、このKPIは市だけの評価なのか、それとも県全体のものなのか。また、今年のエンジン03は、高山での開催がないが、これは県の意向なのか。それとも市として辞退したのか。

南元生涯学習課長

- ・KPIについては、県全体の評価である。

- ・この文化芸術事業の開催地は各圏域を回るようなかたちで実施され、昨年は高山が開催地として選ばれた。今年には国民文化祭もあり岐阜市や、西濃地域である大垣市、各務原市で開催される。市が辞退したわけではない。

#### 菘谷委員

- ・外国人ワンストップ医療窓口設置事業に関連して、民間の保険会社において、医療分野以外においても多言語通訳サービスを実施している。10ヶ国語対応のほか、24時間、365日テレホンサービスを受けられるものがある。そういった保険会社のサービスを市から市内観光事業者にアナウンスしてほしい。

#### 葛井海外戦略係長

- ・多言語通訳サービスについては、民間レベルでたくさんのサービスがある。外国人観光客の受入環境の向上のため、普及については周知させていただく。

#### 清水委員

- ・対象となる外国人はどのくらいいるのか。

#### 葛井海外戦略係長

- ・在留外国人で1,000人前後、外国人観光客は昨年実績で45万人ほどが対象となる。本事業については、外国人旅行者がメインとなっている。

(1)(2)について了承

(3) 第九次総合計画の計画内容等について

(4) 市民説明会の開催及び今後のスケジュールについて

資料に基づき事務局が説明

#### 倉坪委員

- ・人権擁護委員協議会としては、こども達を中心に人権教室を開催している。市のこども政策としては、今年度組織が見直され、こども未来部ができるなど、力を入れていると感じている。本協議会では及ばないようなところの支援をお願いしたい。
- ・地域間連携について、「南北の連携軸を有するエリア」のまちづくりの方向性として、日本遺産などを活かすとある。国府地域も含まれているが、当該地域においては、日本遺産に指定されたときは盛り上がりがあったが、現在は下火となっている。外国人、日本人も含めて来訪していただけるよう改めて力を入れてほしい。また、飛騨市とも連携して広域的な視点でもお願いしたい。
- ・駅西エリアについては、合同庁舎や総合福祉センターに駐車場が少ない。道路には駐車待ちの車で列をなすことがある。駅西での複合施設を建設する際は、そうした駐車場事情を踏まえ計画をすすめてほしい。

#### 沼津総合政策課長

- ・こども政策については、当事者であるこどもや若者の意見をいかに計画に反映するかが重要と考える。こども、若者の意見を取り入れた計画の策定をすすめていきたい。
- ・駅西に予定の複合・多機能施設は、基本計画を今年の5月に策定した。令和12年度から共用開始を予定している。駐車場が少ないという意見は多くの方からいただいているため、留意しながらすすめていきたい。また、周辺施設とも意見を共有しながらすすめていきたい。

#### 鴻巣委員

- ・農地について、国の方針により地域計画の策定を行っており、10年先の田畑を誰が耕作するのかをマップ化する作業をすすめている。国では集約化をすすめるが、農家数が減少することで、道路沿いの草刈りや害虫駆除などの地域活動の維持が困難となる。
- ・人にやさしいとあるが、JR高山駅、市役所では、雨天時のタクシーの乗車において、雨に濡れないといけない。また、雨天時のこどもの健診もこどもを抱え、健診会場に向かっていく。また、新聞では、国府中の生徒が学校のトイレが和式のため、使用することができないと記事にあった。こういった課題を抱える中、人にやさしいということを計画の目標に掲げられるのか。学校へアンケート調査を実施して、トイレの洋式化を検討してほしい。できれば、計画を策定するまでに洋式化をすすめてほしい。
- ・そのほか、本庁舎の思いやり駐車場についても屋根もなく、雨に濡れてしまう状況である。

#### 上田副市長

- ・学校のトイレについては、洋式化に向けて順次改修していく。国府中は現在設計中、来年度に改修し、他学校についても現在調査中で順次すすめていく。

#### 鴻巣委員

- ・順次ではなく、即すすめるべきである。調査中とのことであるが実態を把握していないのか。

#### 上田副市長

- ・各学校の和式、洋式の設置数は把握している。過去に一斉に洋式化への改修を実施した。その際に和式を残してほしいという児童、生徒もあった。現在の生徒が望む、洋式、和式の割合について再調査したい。トイレに大便器が1つしかないところもあるため、すべて洋式にしてしまっても良いかの調査をすすめ、早急に改修したい。

#### 桑谷委員

- ・農業について、現在起きている米騒動について、市農政部局から高山米穀に対して何も聞き取りがなかった。我々も米のほか、卵、飼料など農畜産関連の商系は取り扱っている組合であるが、農政部局との接点がない。
- ・郷土教育は時間をかけてすすめる必要がある。地域愛の醸成によって、高山に帰ってくる土壤をつくるものであると考える。郷土教育においては、他自治体に比べてもその土壤が整っていると思うまちであり、良い教育環境であると思う。

- ・金森長近の生誕500年を記念してマンガを作成し、小中学校にマンガを配布したが、大人も金森長近を知らない人が多くいる。商工会議所を中心に地域活性化推進委員会を立ち上げ、様々な企画を実施しているが、市からは文化財課は関わっているものの、市の熱量があまり感じられない。こういった文化振興事業は様々な部署が連携しなければならない。一時的に終わるものではなく、長く続けていくものである。高山は天領というイメージが強いが、城下町が残っているというところもしっかりとPRして、さらなる地域活性化に向けすすめていく必要がある。

#### 丸山委員

- ・基本理念、都市像は議会を経て決定したものなのか。

#### 上田総合計画策定室長

- ・議会とは、この方向ですすめて良いとして協議がすすんでいるところである。

#### 丸山委員

- ・基本理念について少々言葉のリズムがスムーズでない気がする。
- ・幸せの概念をどのように捉えているのか。
- ・別紙2がすべてA3の片袖折りであるため、余白を削ってA4で収められなかったのか。
- ・「障がい」という表記については、障がいをお持ちの大半が「障害」で良いと思っている。それは個人のハンディキャップではなく、社会側に障害があると感じているためである。ひらがなにするとそういった障がいをお持ちの方の考えが、返って伝わらなくなると考える。
- ・地域全体の助け合いについては、助け上手はもちろんのこと、助けられ上手も重要なことである。
- ・福祉的な考えにおいて、障がい者の自立支援とは、依存先が多くあるという状況が自立という考えである。独り立ち＝孤立につながる、そういった目で計画上の言葉を選んでほしい。
- ・心のケアに関連して、飛騨地域においては高山市の自殺率が高い。支援することで自殺率を下げるなど踏み込んだことが記載ができれば良いと考える。

#### 上田総合計画策定室長

- ・幸せの概念については人それぞれで違うと考える。行政として、それぞれの幸せを実現するには、施策によって、生活していくことの課題やバリアを取り除くことや、それぞれの役割や居場所をつくるのが、幸福度の向上につながると考えている。

#### 議長（堀会長）

- ・幸福度を計る指標については今回の資料に掲載されているため、そちらを一読いただければと思う。
- ・基本理念の言葉のリズムが悪いというのは、「飛騨高山」が2回も出ることからかと思う。

#### 岩塚委員

- ・子ども達に意見を伺った今回の計画になっていると感じた。
- ・市の移住者数は、県内でも高い方に位置しているため、住みやすいところであると感じている。
- ・今後、意見交換会を予定しているとのことであるが、市の施策に対して、意識が高い人や興味がある人は参加すると思う。一方で今後のまちの担い手となる子ども達に対して、こどもの意見を踏まえた計画、子どもを中心とした計画であることを説明する機会はあるのか。
- ・高校生は一度で地元を離れると帰ってこなくなる。今、子育て中の親が計画期間中にこどもの巣立ちを経験する。こどもの進路に対して親子を対象した意見を伺う機会はあるのか。

#### 上田総合計画策定室長

- ・子どもに対して、計画の案を聞く機会は想定していない。ただし、現在の計画ではあるが、学校から出前講座の希望により、総合計画やまちづくりについて説明を実施しているところはある。
- ・子ども、子育て中の親との意見交換会は想定していない。現在、予定中の説明会やオンラインによる意見提出に参加してほしいと考えている。

#### 議長（堀会長）

- ・子どもに対して説明するという視点はなかった。郷土教育にもつながることかと思う。

#### 新井委員

- ・森林整備については、ぜひ森林環境譲与税の有効活用してほしい。森林整備は人工的な整備が必要である。森林の奥地へ行くためには路網整備が必要である。林道は舗装されていないため、災害等のリスクが伴う。県においてリスクを評価するマップを作成している。当組合においては、市の森林整備に合わせながら、路網整備をすすめていきたい。引き続き、森林活用に向けて、連携して取り組んでいきたい考えである。
- ・森林の多面的機能に関連して、県営林の立木の売却が開始された。面積は約70haほどで皆伐されるとそのエリアに木がなくなり、災害リスクが伴ってしまう。譲与税を活用して市が保有し、間伐や植林をすすめてほしい。
- ・地域間連携のまちづくりの高規格道路沿線の立地を有するエリアとしては企業立地をすすめてほしい。東海環状自動車道の整備に伴い、その沿線で企業立地がすすんだ。企業立地がすすむことで人口の増加や税収の増加が見込まれる。

#### 山本委員

- ・市内において、子どもが室内で遊べる場所が少ない。静岡県の焼津市に木と触れ合えるおもちゃ美術館がある。高山も木工が強いところであるため、企業と連携してこのような施設整備ができないかと思う。
- ・また、中学校、高校生がバスケットボールなどして遊べる場所が少ない。

- ・姉妹友好都市に関連して青年会議所でも外国人との交流機会を創出する企画を検討しているところである。外国人で賑わう高山だが、外国人と交流はできる人は少ないと思う。国際的な視点を持った人をつくるためには、外国人と交流できるような大きなイベントが必要であると考ええる。
- ・燃料に関する記載がない。日本で 2050 年に排出量が 0 になっても、平均気温がわずかしりか下がるらないというデータがある。脱炭素社会の実現を目指す世の中であるが、災害時の寒さ対策につながるなど、もっと燃料の活用に目を向けてほしい。
- ・わかりやすい計画を目指すとのことであるが、文字だけを読んでも特にワクワクしない。共有するため、また夢が持てるように計画の見せ方には検討が必要である。

#### 林委員

- ・計画の資料を見ても言葉がつらつらと続く。課題に対して具体的な取組みを記載しないと伝わらない。

#### 議長（堀会長）

- ・わかりやすい総合計画とするため、ダイジェスト版のようなものの策定をすすめてほしい。

#### 清水委員

- ・認知症フレンドリー社会の実現とあるが、取り組むにあたっては、膨大な予算が必要と思う。草津温泉で温泉地を再開発して成功した事例がある。何かに特化した事業に取り組むことによって、他にも良い影響が現れると考える。認知症フレンドリー社会の具体的な施策があれば話を伺いたい。

#### 笠井委員

- ・平成 27 年からまちづくり協議会がスタートし、今年で 10 年目を迎えた。まちづくり協議会がはじめた経緯は市ではフォローし切れない地域課題を解決していくことが、前提としてあった。各まちづくり協議会においては、最初は何をやって良いかのかわからないままスタートし、同じ方向を向いて活動していたかは疑問だった。一昨年、協働のまちづくり指針を策定し、まちづくり協議会として取り組むべき、一定の方向性が見えてきたのではないかと思う。
- ・住民を対象としたアンケートを実施し、課題を把握して、課題解決に向けた活動をすすめる。地域によっては課題がバラバラであるが、そういった地域課題を解決するのがまち協の使命かと思う。
- ・何かをすすめるにも人が必要であるが、担い手不足が課題である。誰か個人に頼むのではなく、市内企業や団体と連携しながら協力体制を強めることが担い手不足をカバーできると考える。
- ・近年心配していることが、防災についてである。東山中学校が今年の総合防災訓練の開催地であったため、例年あるような啓発活動ではなく、現実的な防災訓練を計画していた

が、台風の影響により中止となった。当日は晴れたため、災害が発生したことを想定して、役員で安全確認を実施したが、そこに市の職員が参加されなかったのは非常に残念に感じた。

- ・地域で活躍する若い人を育てるための施策がある。まち協の役割は何か。今後 10 年間、市民全員が幸せになるような計画になってほしいと願う。

#### 松葉委員

- ・中心市街地の現状は外国人観光客が多く、歩行するのも困難な状況である。そのような中、空き店舗はいつの間にかゲストハウスになっている。この観光客が少なくなったら、ゲストハウスが撤退し、寂しい商店街になることを危惧している。既存の商店街が潤うようにプレミアム付き商品券の発行を願う。良いまちと感じる観光地になってほしい。

#### 川原委員

- ・町内会はそこに住む個人だけではなく、企業、団体など色々とつながりを持つ組織である。
- ・子ども会がないところや、長寿会員が多すぎるなど、町内会組織の活動に対して課題が多く出ている。また、担い手が少ないのも課題である。行政が負担軽減に取り組んでくれているが、難しいと感じている。
- ・総合計画として全体を網羅する計画であり、行政としてこのような表現になることは仕方がないと思っており、審議会委員の役割としては総合計画を所属する団体の方々にわかりやすく伝えていくのも役目と感じている。

#### 議長（堀会長）

- ・地域お担い手不足に対して広報活動が必要かと感じている。

#### 坂井委員

- ・今後の策定に向けたスケジュールを教えてほしい。

#### 上田総合計画策定室長

- ・9月に市民説明会を開催して、市民アンケート・パブリックコメントを経て、12月に再度、本審議会を開催し諮問させていただきたい。3月の策定を目指しているところである。

#### 議長（堀会長）

- ・総合計画に対する意見や依頼事項があれば事務局まで連絡してください。

(1)(2)について了承

4. その他

特になし

5. 閉会

市あいさつ（上田副市長）

# 高山市総合計画審議会 委員名簿

(任期:R6.6.1~R8.5.31)

No.	団体等名称	役職等	氏名	出欠(9/17)
1	高山市観光連絡協議会	会長	堀 泰則	○
2	高山商工会議所	副会頭	蓑谷 雅彦	○
3	高山市商店街振興組合連合会	副理事長	松葉 早百合	○
4	高山金融協会	会長	沖本 直	○
5	連合岐阜飛騨地域協議会	事務局長	谷口 寛子	○
6	高山市農業委員会	会長	鴻巣 明久	○
7	飛騨農業協同組合	代表理事専務	坂井 昭夫	○
8	飛騨高山森林組合	森林整備課長	向畑 学	欠席
9	社会福祉法人高山市社会福祉協議会	事務局長	丸山 永二	○
10	高山市民生児童委員協議会	委員	村中 美耶子	○
11	特定非営利活動法人飛騨高山わらべうたの会	理事長	岩塚 久案子	○
12	高山市連合長寿会	副会長	清水 健一	○
13	高山身体障害者福祉協会	副会長	小林 幸長	○
14	(一社)高山市医師会		加藤 早千代	欠席
15	高山市教育委員会	委員	桑谷 康弘	○
16	高山自動車短期大学	学長	坂井 歩	○
17	高山市社会教育委員会議	議長	林 廣茂	○
18	(一社)高山市文化協会	理事	北平 真由美	○
19	高山人権擁護委員協議会	事務局	倉坪 栄一	○
20	高山市町内会連絡協議会	会長	川原 正巳	○
21	大八まちづくり協議会	会長	笠井 新治	○
22	国府町まちづくり協議会	事務局長	多賀 泰歩	○
23	一般社団法人高山青年会議所	出向理事	山本 善大	○
24	高山国道事務所	所長	東 佑亮	○
25	高山市快適環境づくり市民会議推進委員会	委員	澤之向 由美子	○
26	たかやま林業・建設業協同組合	副理事長	新井 裕輔	○
27	高山市景観町並保存会連合会	会長	大野 二郎	欠席
28	(一社)岐阜県建築士事務所協会	飛騨支部長	古垣内 克幸	○
29	高山市消防団	団長	栗本 義浩	○
30	岐阜新聞・岐阜放送ひだ高山総局	総局長	平田 成範	○